

## 三浦柚貴がFIA-F4で3位表彰台を獲得！

1期生の三浦柚貴（18）が、今シーズン参戦するFIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIPの最終戦もてぎ大会で3位表彰台を獲得しました。

三浦は昨シーズンのスーパーFJからFIA-F4へステップアップを果たし、今シーズンはTOYOTA TGR-DCからFIA-F4にフル参戦。シーズン前半は苦戦が強いられていましたが、中盤から徐々に速さを見せ始め迎えた最終戦もてぎ大会。木曜日のフリー走行では自らの走りをアジャストできず下位に沈んでしまいましたが、金曜日には大きく走りを改善し上位のタイムを記録しました。

土曜は予選とレース1が行われます。朝の予選セッションは夜中に降った雨により、路面がわずかに濡れているダンプコンディションの中スタートしました。周回を重ねるごとに路面コンディションは回復していく難しい状況の中、三浦は5番手のタイムを記録し上位グリッドを獲得しました。

午後に入りレース1が始まります。路面は完全に乾きドライコンディションの中、46台のマシンがグリッドに整列しました。スタート直前にシグナルトラブルが発生し、赤旗によりスタートはやり直しとなりました。さらに三浦の前の選手がマシントラブルによりスタートできず、三浦は4番手からのスタートとなりました。レースがスタートし、三浦はポジションを一つ上げて3番手でオープニングラップを終えます。しかし、そこからペースが上がらず後方から迫られる展開に。2台に交わされてしまい最終的に5位でこのレースを終えました。それでも貴重なポイントを獲得でき、自信を取り戻す結果となりました。翌日のレース2ではレースペースの改善を目指します。

日曜日のレース2が始まります。三浦は前日のレースと同じ5番グリッドからスタートします。今シーズン最後のレースが幕を開けます。三浦はスタートを確実に決め、5番手のまま1コーナーをクリア。5コーナーで一つポジションを上げ、オープニングラップを4番手で終えます。1周目で起きたアクシデントによりセーフティーカーが導入され、5周目にレースが再開されました。再開後の数周の三浦のペースが伸びず、後方からプレッシャーを掛けられる展開に。レース1と同じような流れになるかと思われましたが、ここから三浦は大きく飛躍を見せます。一度は抜かれたライバルを抜き返し、4番手を取り返します。そこから前を行くトップ3台と同じペースで走行し、後方を引き離すほどのハイペースで周回を重ねていきます。三浦は4位でチェッカーを受けますが、2位の選手のペナルティにより1ポジション繰り上がり3位となり、自身初の表彰台を獲得しました。

自らの課題であったレースペースを最後のレースで克服することができ、良い形で今シーズンを締めくくりました。

